

## 企業概要

## Company outline

- ▶ [トップメッセージ](#)
- ▶ [基本ビジョン](#)
- ▶ [事業紹介](#)
- ▶ [組織体制](#)
- ▶ [企業概要](#)
- ▶ [ISO9001認証取得](#)
- ▶ [ネットワーク](#)
- ▶ [HOMEに戻る](#)

### 道路工業株式会社・企業概要

- 創 立            1949(昭和24)年2月28日
- 資本金            1億円
- 代表者            代表取締役社長 中田 隆博
- 社員数            154名
- 特定建設業許可 国土交通大臣(特-18)第817号
- 事業内容
  - 1.道路建設・各種の舗装工事
  - 2.特殊舗装工事  
(カラー舗装、半たわみ性舗装、排水性舗装、耐クロローラー舗装、弾性系舗装)
  - 3.浅層地盤改良工事
  - 4.道路維持補修工事、路面切削工事、ランブルストリップス  
各種表面処理工事、除雪作業
  - 5.道路維持補修用材料製造・販売、アストック(常温合材)、オサムクン(常温混合物)、ノースライド(環境配慮型凍結防止剤)
  - 6.環境浄化事業
- 事務所
  - 本社／札幌
  - 営業所／札幌ほか北海道内11カ所、関東
  - 工事事務所／札幌ほか北海道内14カ所
  - 技術試験所／札幌
  - 環境管理事務所／札幌
- 売上高            103億8千4百万円(2009年3月期実績)
- 平均年齢        42歳
- グループ 企業
  - 道興加茂株式会社  
一般土木工事、造園工事、上下水道施設工事、道路維持補修工事
  - 道興技研株式会社  
建設工専用資材の購入並びに販売  
建設工専用機械器具の購入並びに販売、設置、製作及び修理  
建設工専用機械器具並びに車両の賃貸
  - 道興保険株式会社  
損害保険代理業務
- 主な受注先
 

<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 国土交通省北海道開発局各建設部</li> <li><input type="checkbox"/> 北海道庁各支庁</li> <li><input type="checkbox"/> 札幌防衛施設局</li> <li><input type="checkbox"/> 農業開発公社</li> <li><input type="checkbox"/> 石狩湾新港管理組合</li> <li><input type="checkbox"/> 東京都港区</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 北海道庁各土木現業所</li> <li><input type="checkbox"/> 東日本高速道路(株)</li> <li><input type="checkbox"/> 緑資源公園北海道支社</li> <li><input type="checkbox"/> 苫小牧港管理組合</li> <li><input type="checkbox"/> 札幌市ほか北海道内の各市町村</li> </ul>
---	---
- 認証取得
  - JIS Q 9001:2008 (ISO9001:2008)
  - JIS Q 14001:2004 (ISO14001:2004)
- 審査登録        OHSAS18001:2007

### 道路工業株式会社・沿革

- 昭和24年(1949) 会社創立(2月28日)、資本金50万円
- 昭和25年(1950) 資本金100万円に増資
- 昭和28年(1953) 札幌市より初受注
- 昭和30年(1955) 資本金600万円に増資  
北海道開発建設部 初受注
- 昭和31年(1956) 建設業知事登録



すべての道は回マンに通ず

D 道路工業株式会社

HOME

企業情報

事業実績

環境改善商品

リクルート

企業情報 > TOP

サイトマップ

企業情報

## 事業紹介

## Enterprise introduction

事業紹介メニュー

### ④ 道路建設部門



当社の舗装部門にはさまざまな資格を備えたスペシャリストが揃っており、北海道をくまなくカバーする事業所・営業所を足場に、各地で苛酷な自然条件を克服して、新たな道を拓いています。

④ 詳しくはこちらから

### ④ 技術試験所



常に業界をリードする当社の技術力を支えているのが、この技術試験所。現場からの生きたデータを基に実験・研究を重ねてきた実践的な技術力が寒冷地の特殊条件を克服してきたのです。

④ 詳しくはこちらから

### ④ 環境管理事務所



ハイレベルな技術を支える頭脳のひとつがこの環境管理事務所。メンテナンスだけでなく、永年にわたる現場経験から得られたノウハウを生かした舗装用機械の開発・製造まで行っています。

### ④ アスファルト合材再生プラント



道路舗装の材料となる骨材も無尽蔵ではなく、環境保護の観点からも当社は早くからリサイクルに取り組んできました。廃材の再生処理はもちろん、公害防止対策も万全のプラントです。

④ 詳しくはこちらから

### ④ 森林整備事業



舗装工事にあたって当社では、周辺自然環境への配慮を重視した施工を実践していますが、自分たちの手で少しでも自然に“お返し”をしたいと考えて、社有林を購入。1978年から植林事業も行っています。

④ 詳しくはこちらから

- ▼ トップメッセージ
- ▼ 会社ビジョン
- ▼ 事業紹介
- ▼ 技術試験所
- ▼ アスファルト合材再生プラント
- ▼ 森林整備事業
- ▼ 組織体制
- ▼ 企業概要
- ▼ ISO9001認証取得
- ▼ ネットワーク
- ▼ HOMEに戻る

▼ ページのトップへ

お問い合わせ

〒 064-8560

COPYRIGHT (C)2004 DOHROKOHGYOU CO., Ltd. ALL RIGHT RESERVED  
札幌市中央区南8条西15丁目 TEL(011)561-2251 FAX(011)513-2119

- 昭和32年(1957) 資本金1200万円に増資  
国内初のAS安定処理を羽幌にて施工  
北海道土木現業所初受注
- 昭和35年(1960) 技術試験所新築開設
- 昭和36年(1961) 資本金2,400万円に増資
- 昭和37年(1962) 建設大臣登録
- 昭和38年(1963) 資本金5,000万円に増資
- 昭和39年(1964) 機械工作所新築開設(現:環境管理事務所)  
陸運局(自動車分解整備課)認証取得
- 昭和48年(1973) 特定建設業許可  
日本道路公団初受注 北海道横断自動車道(小樽~札幌)その2工区
- 昭和51年(1976) 道興建設株式会社 設立  
資本金1億円に増資
- 昭和53年(1978) 北海道今金町に山林取得
- 昭和57年(1982) 道興保険株式会社、株式会社道興設立
- 昭和63年(1988) 道興技研株式会社設立
- 平成10年(1998) 北海道開発局長表彰 初受賞  
ISO9002認証取得
- 平成11年(1999) 創立50周年  
道興技研株式会社、株式会社道興を吸収合併
- 平成12年(2000) ISO14001認証取得
- 平成13年(2001) OHSAS18001審査登録  
ISO9001(2000年版)に移行完了

[ページトップへ](#)

[お問い合わせ](#)

COPYRIGHT (C)2004 DOHROKOHGYOU CO, Ltd. ALL RIGHT RESERVED  
〒 064-8560 札幌市中央区南9条西15丁目 TEL(011)561-2251 FAX(011)513-2119

事業紹介

Enterprise introduction

森林整備事業



今金町ホームページ

人間社会にとって必要なインフラ整備である道路建設ですが、それは同時に自然からかけがえのないものを借りる事でもあります。

もちろん施工の際には、周辺環境への配慮を欠かしませんし、再生プラントに見られるように有効利用を心がけていますが、自然の被害がゼロとは言えません。当社では、少しでも自然に“お返し”をしていこうと考え、1978年から森林整備事業を始めました。



多角経営の一環として森林産業をやろうという事ではありません。あくまでも、荒廃した山林を健康な優良林に蘇らせるのが目的です。現在、檜山管内の今金町と後志管内の留寿都村に社有林を持ち、エゾ松・トド松を中心とする計画的な植林・育林を行っています。

クマ笹が生い茂る原野に苗を植えるところからスタートして、木の成長を助ける下刈り・除間伐・害虫駆除など、一本一本に愛情を注いでいます。

その施策方針は、

1. 無立不地への造林については、天然林で成長が良好なトド松を植えかえて育成する。
2. 天然林の育成については、天然林で林相の良いエリアと将来良好な天然林となる事が予想されるエリアを選び、育成する。
3. 不良広葉樹林を人工林へ移行させるケースについては、立地・樹の種類・その他の形態を調査して見込みのないエリアである事を確認。山地の自然破壊にならぬよう十分留意して、トド松を中心に複層林に植えかえていく。
4. 立木の伐採・売却については、止むを得ない場合を除いて、今後100年間絶対に行わない。
5. 人工林の後継樹はトド松とする。
6. 森林の保護、害虫・害獣の駆除、および火災の防止に努める。
7. 施策を円滑に行うため、作業道の建設および治山事業も行う。
8. 間伐材の有効利用策に関しても考える。

社有林は、今金の山林(約1800ha)を中心に徐々にその規模を拡大しており、将来は3000haを目標にしています。森林の育成は人類としての責任を果たす事業。本業である道路整備事業と並行して、公共事業で得た利益を社会に還元する事業として、今後も山に緑をよみがえらせていきたいと考えています。

トピックス

民有林造林コンクールで林野長官賞を受賞



表彰状と  
受賞記念テレフォンカード

当社は1999年10月、第38回東北・北海道地区民有林造林コンクール(カラマツ・トドマツ部門)において、林野庁長官賞を受賞しました。受賞の対象となったのは、当社が北海道虻田郡留寿都村に所有する68haのカラマツ林で、配点100点の審査項目で98点の高得点を獲得しての受賞。留寿都村のカラマツ林は昭和45年(1970)から植栽を始め、現在は2800本余りが生育し、常駐の管理人が除間伐を行い保育作業を実施しています。

この林野庁長官賞の受賞は、そうした日常の管理業務に加え、植栽木の一部を緑化木・杭材として活用するための密植造林の実施や炭素施設を設け間伐材利用の木炭生産を行っていること、また林を社員の福利厚生および村民に自家用として供給していることなどが高く評価された結果です。

- ▶ トップメッセージ
- ▶ 完全・ピジョン
- ▶ 事業紹介
- ▶ 技術試験所
- ▶ アスファルト合材再生プラント
- ▶ 森林整備事業
- ▶ 組織体制
- ▶ 企業概要
- ▶ ISO9001取得
- ▶ ネットワーク
- ▶ HOMEに戻る

当社代表取締役会長の中田良孝は受賞の名誉に応えて「心を込め、根気強く続けてきた仕事が認められ大変うれしい。木材は輸入できても森林は輸入できない」といわれるが、今こそこの言葉の意味を深く考えさせられます。生涯を通じてやりがいのある事業であり、今後も誇りを持って事業に携わってまいります」と語っています。

[🏠 ページのトップへ](#)

[📞 お問い合わせ](#)

〒 064-8560 COPYRIGHT (C)2004 DOHROKOHGYOU CO, Ltd. ALL RIGHT RESERVED  
札幌市中央区南8条西15丁目 TEL(011)561-2251 FAX(011)513-2119



- ▼ トップメッセージ
- ▼ 理念・ビジョン
- ▼ 事業紹介
- ▼ 組織体制
- ▼ 企業概要
- ▼ ISOほか認証取得
- ▼ ネットワーク
- ▼ HOMEに戻る

### ISO9001規格 [international organization for standardization 9001]

モノやサービスの流通を促進するために、118の国と地域が加盟してつくられた国際的な標準規格がISO。9000シリーズは1987年に制定された品質管理ならびに品質保証に関する規格で、認証取得のためには工場や事業所ごとに品質マニュアルを文書化して、第三者の審査登録(認証)機関から認定される必要があります。

#### ISO9001: 当社の取得経緯

当社は1998年に認証取得して以来、2000年バージョンへ移行し、維持・継続をしております。これからもお客様の期待にお応えする品質向上に努めてまいります。

#### ■品質方針

道路工業株式会社は、「誠実」の精神をもって法規制の遵守、顧客要求事項への適合及びQMSの有効性の継続的改善を推進し、信頼される品質の構築物・合材を供給することを品質方針とする。この方針達成により企業の発展と社会への貢献を果たす。

平成13年3月10日  
道路工業株式会社  
代表取締役社長 中田 隆博



- 認証取得年月日  
1998(平成10)年8月24日
- 審査機関  
株式会社 マネジメントシステム評価センター(略称:MSA)
- 認定範囲  
JAB R/CP200付表の2認定範囲分類の項目のうち  
[28建設][16 コンクリート、セメント、石灰、石こう他]
- 登録範囲  
舗装及び土木構造物の設計及び施工、並びに合材の製造、並びに付帯サービス
- 適用規格  
JIS Q 9001:2008 (ISO9001:2008)
- 登録範囲に含まれる部署  
道路工業株式会社 本社各部  
環境管理事務所、技術試験所、全営業所(関東を除く)、全工事事務所、全合材工場

### ISO14001規格 [international organization for standardization 14001]

ISO14001は、組織活動が環境に及ぼす影響を最小限に抑止することを目的に定められた環境に関する国際的な標準規格です。1992年にブラジルで開催された「地球サミット」を受けて、1996年にISOで制定されました。

ISO14001は環境マネジメントシステム(EMS)として、企業活動・製品・サービスの環境負荷低減を継続的に改善するようなPDCA (Plan→Do→Check→Action)サイクルを持つシステムであることを要求しており、経営管理システムの一つと考えるべきものです。

#### ISO14001: 当社の取得経緯

当社は、積極的に地球環境の保全に努め、環境との調和を図っていくために、企業活動にかかわる全ての人が環境に配慮した活動を行うことを基本理念とし、「誠実」の精神をもって環境マネジメントシステムの継続的改善を推進していきます。

## ■環境方針

海、山そして、原野等美しい自然を多数有し、四季が明瞭で、折々の美しい景色が映し出される、日本最北の地「北海道」。当社はこの地で道路建設、アスファルト合材の製造、販売を行う企業です。当社は、地球環境の保全と次世代への健全なる継承が、人類共通の最重要課題であるとの認識に基づき、積極的に地球環境の保全に努め、環境との調和を図り、企業活動にかかわる全ての人々が環境に配慮した活動を行うことを環境に対する基本理念とすると共に、「誠実」の精神をもって、この環境方針を達成するため、以下に示した環境保全活動を行います。

- (1) 地球環境保全の為、環境汚染の予防の厳守及び環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります
- (2) 環境に関する法律、条例及び当社が同意するその他の要求事項等を順守します。
- (3) 環境目的・目標を定め、定期的に見直します。
- (4) 当社の事業活動によって生じる環境影響のうち、以下の項目について、重点的に取り組みます。
  - ・天然資源の保護と省エネルギーの推進
  - ・廃棄物の削減
  - ・地球温暖化の抑制



この方針は、すべての要員に周知すると共に社外にも開示します。

平成17年4月1日  
道路工業株式会社  
代表取締役社長 中田 隆博

- 認証取得年月日  
2000(平成12)年8月22日
- 審査機関  
株式会社 マネジメントシステム評価センター(略称:MSA)
- 認定範囲  
JAB R/CP200付表の2認定範囲分類の項目  
[28建設]、[16 コンクリート、セメント、石灰、石こう他]
- 登録範囲  
・舗装及び土木構造物の施工  
・アスファルト合材の製造
- 適用規格  
JIS Q 14001:2004(ISO14001:2004)
- 登録範囲に含まれる事業所・部署  
道路工業株式会社 本社各部  
環境管理事務所、技術試験所、全営業所(関東、道南を除く)、全工事事務所、全合材工場

## マネジメントシステムの重点的取り組み事項

- (1) 天然資源の保護と省エネルギーの推進
- (2) 廃棄物の削減
- (3) 地球温暖化の抑制

## OHSAS18001規格[Occupational Health and Safety Assessment Series 18001

OHSAS18001は、職場全体のリスクアセスメントを実施して職場に潜む危険有害要因を洗い出し、その対策を講じていくことによって、リスクを低減し、労働安全衛生管理活動の継続的改善を図る仕様規格。継続的な改善を意図したPDCA(Plan→Do→Check→Action)サイクルを持つシステムであり、ISO9001、ISO14001との融合も意識した規格です。

## OHSAS18001: 当社の取得経緯

当社は、以前から安全部を総務部から独立させるなど、「安全最優先」をモットーとしてきましたが、OHSAS 18001規格も2000年にいち早く、認証を取得。この規格を維持・活用し、これからも安全で快適な職場づくり  
に努め、0災害達成を目指して参ります。

## ■労働安全衛生方針

道路工業株式会社は、道路建設、アスファルト合材の製造・販売において、法律及び顧客等が求める基準並びに社内規則を厳守し、安全衛生成績の向上を目指しつつ、健やかで安全快適な職場環境作りに努め、業務に係わる全ての人々と協調し事故災害を未然に防止すると共に健康を保持する。以って、企業の発展と社会への貢献を果たす。

平成20年8月1日  
道路工業株式会社  
代表取締役社長 中田 隆博



- 認証取得年月日  
2001(平成13)年2月23日
- 審査機関  
株式会社 マネジメントシステム評価センター(略称:MSA)
- 認定範囲  
JAB R/CP200付表の2認定範囲分類の項目  
[28建設]、[16 コンクリート、セメント、石灰、石こう他]
- 登録範囲  
舗装工事及び土木工事の施工並びに合材の製造
- 適用規格  
OHSAS18001:2007
- 登録範囲に含まれる事業所・部署  
道路工業株式会社 本社各部  
環境管理事務所、技術試験所、全営業所(関東、道南を除く)、全工事事務所、全合材工場

## マネジメントシステムの具体的な取り組み内容

本規格の要求事項を効果的に実施・維持するため、全社的に労働安全衛生パフォーマンスの改善を継続的に実行していきます。

- (1) 情報収集に努め事故誘因・ニアミスをより多く聴取し、プロアクティブ(予防的活動)を展開
- (2) 継続的改善を図るために、内部OHS監査の実効性の質的向上を目指す
- (3) 協力会社を自主的に本システムに組み込ませるよう努力する

[ページトップへ](#)

[お問い合わせ](#)

COPYRIGHT (C)2004 DOHROKOHGYOU CO, Ltd. ALL RIGHT RESERVED  
〒 064-8560 札幌市中央区南0条西15丁目 TEL.(011)561-2251 FAX.(011)513-2119